

認知症フェスタ2024が開催されました

毎年9月は「認知症月間」、9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。市は9月28日にさざんかで、認知症の早期発見・早期対応の大切さを普及し、認知症になっても暮らせるまちを目指して、「認知症フェスタ」を開催しました。

認知症予防講演会「回想法で認知症予防！」

認知症予防の視点から、予防法の1つである「回想法」について、来島修志氏を講師に迎え、レクレーションを交えながら話をしていただきました。

＊「回想法」…昔使っていた馴染み深い物や音楽、写真などを見たり触れたりしながら経験や思い出を語り合う一種の心理療法。思い出したことを言葉にして話すことで、脳が活性化し自発後の増加を促進する作用があります。



「静岡県希望大使」と語ろう

「静岡県希望大使」に任命されている三浦繁雄さん（市内在住）と来場者が語り合いました。

＊「静岡県希望大使」…認知症への社会の理解を深め、認知症の有無に関わらず同じ社会の一員として地域を共に創っていくため、設置されています。普段は普及啓発活動や相談支援など、幅広く活躍しています。



昔の遊び体験&補聴器の展示コーナー

体験コーナーでは、認知症キャラバン・メイトやチームオレンジ、認知症カフェの支援者と来場者が一緒に、昔の遊びを体験しながら会話をしました。



カルタ遊びコーナー



補聴器の展示

認知症の人への接し方

ポイント… 3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 心を傷つけない



認知症など「高齢者の生活の困り事」の相談窓口

- ▶川崎・細江・坂部小学校区の人
「地域包括支援センターオリーブ」（さざんか1階） ☎②8822
- ▶相良・地頭方・菅山小学校区の人
「地域包括支援センターさがら」（相良庁舎1階） ☎③1900
- ▶萩間・牧之原・勝間田小学校区の人
「地域包括支援センターさんいく」（㈱笠原産業本社ビル 1階 [牧之原区（相良地区）]） ☎②3600

いつでも自分らしく暮らすために 認知症を知ろう

認知症は、誰にでも起こり得る脳の病気です。令和7年には、高齢者の5人に1人が認知症になると言われています。認知症があってもなくても暮らしやすい社会になるよう、認知症の症状や接し方を知る活動をととして、私たち一人一人に何ができるのか考えてみませんか。

問い合わせ 長寿介護課 小川 ☎③0076



認知症の理解を広める活動を紹介します

認知症への理解が、地域でも少しずつ広がっています。興味のある人は、気軽にご参加ください。活動については、長寿介護課までご連絡ください。

認知症サポーター養成講座

認知症に関する知識やちょっとした手助けのコツを学ぶ講座です。学校・企業・地域などのグループ単位で受講することができます。

／ 私たちが講師です／ 認知症キャラバン・メイト

「認知症サポーター養成講座」の講師を務めています。福祉専門職をはじめ、主婦や地域の人々が活躍しています。



学校でも講座を開催



民生委員向け養成講座

認知症カフェ「みどりカフェ」

認知症の本人とその家族や認知症に関心のある人など、どなたでも自由に過ごせる居場所です。

日時
毎月第1金曜日
午前10時～正午
場所
根松公民館（細江区）
参加費 100円



チームオレンジ

認知症の人を支えたり、認知症の本人と一緒に活動したりする人の集まりです。「認知症カフェ」など、あなたのやりたい事を教えてください。

認知症に関するアンケート

認知症について、皆さんの認識などを教えてください。



介護に関するなんでも箱

介護に対するあなたの思いをそのまま聞かせてください。※内容を無断で公表することはありません。



認知症に関するイベント in 図書館

9月の認知症月間に合わせて、図書館司書お薦めの認知症に関連する本を市図書館で展示しました。（写真は「いこっと」での様子）